

## すいた環境サポーター養成講座 第8回目

日時：12/12(木)18:30~20:30

場所：千里市民センター2階 大ホール

### ◆環境教育プログラムの作成法

講師：公益社団法人 大阪自然環境保全協会 理事 岡 秀郎 氏

環境教育へのアプローチには、「生物の生存環境としての地球などの関連する内容について知的な理解をはかる」もの、「情報集め・分析・解釈・評価などの技能を習得する」もの、「資源のムダ使い・廃棄物の現況などのトピックスを追う」もの、「自然など環境との触れ合いの機会を持たせ、感受性を刺激したり、調べや探究で接する機会、関心、問題、行動を学ぶ、野外活動からのものがあります。



環境教育プログラムは、一定の目的をもつ、始まりから終わりまでの一連の進行計画なものであり、「導入」や「アクティビティ」「まとめ」などを組み合わせることで全体を構成し、目的に集約されるストーリー性を備えたものであることが重要だということ学びました。

これらの講義を受けた後、プログラム作成の実習をしました。発表の場では、受講者の、どんな環境問題に興味があるのかや、環境問題解決に向けてどんな活動をしようとしているのか等、熱い思いなどを知ることができました。

### ◆市内団体の取組概説と質疑等 2

吹田市内で活動する以下の市民団体の取組が発表されました。



アジェンダ 21 すいた



(特活) すいた体験活動クラブ



竹林友の会



(公社) 大阪自然環境保全協会

各団体の報告者の方々には時間制約がある中で、親近感をもって、かつ力をこめた発表をしていただきました。

取組発表後は発表団体の各ブースにて、質疑応答が行われました。受講者は各団体の担当と、活動を行う上での疑問点や活動の詳細などを相談していました。

◆ふりかえり

第8回目も、個人でのふりかえり、グループでのふりかえりをして、終了しました。

